



宮島エコツーリズム推進事業

第1回~第5回報告レポート

第5回 モニターツアー

開催日：2024/12/19

①造成したエコツアーのテーマとタイトルを決定

「神の島“宮島”をじっくり心に触れる人力車エコツアー」～暮らしと信仰編～

通常的人力車のガイドに加え、宮島を単なる観光地として捉えるのではなく、そこで暮らす人々の生活や、「神の島」として崇拝されてきた信仰の歴史や文化に焦点を当てたエコツアー

【体験時間】3時間

【価格】¥60,000（通常の3時間プランと同額）

【ルート】栈橋⇒大鳥居⇒厳島神社⇒西の松原⇒紅葉谷⇒町屋通り⇒ぎゃらりい宮郷⇒栈橋

②販売に向けたモニターツアー

（一社）せとうち観光推進機構の田代和弘氏（地域の魅力づくりグループ グループマネージャー）、西田 恵 氏（経営企画グループ グループマネージャー）を招聘し、造成したエコツアーの体験を通じて販売に向けたアドバイスをいただいた。



③モニターツアーの評価とアドバイス

<評価>

- ・3時間コースであるが、乗りっぱなしではないので、最初の想像より短く感じた。
- ・ガイドの中で、島の暮らしや町屋についての話を聞いた後に、宮郷さんの元を訪れたことで「伏線回収」となり驚いた。また、ぎゃらりい宮郷さんを訪れることを聞いていなかったなので、すごく「偶然の出会い感」を感じた。この要素はインバウンドに相性の良いポイントである。
- ・2人で60,000円は適正価格だと感じた。

<アドバイス>

- ・歴史的ストーリー仕立てになっていることを、事前にある程度触れておくと、その視点で話を聞くことができる。
- ・価格は体験した後に適正とを感じるが、事前に本体験のディープな良さを伝えるのは難しい。参加した人のリアルな意見を「口コミ」にたくさん書いてもらうのが重要になってくる。



宮島エコツーリズム推進事業

第1回~第5回報告レポート

第4回 エコツアー造成に向けた第二回実地検証

開催日：2024/11/8

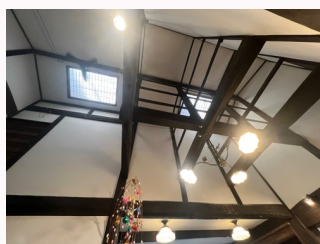
①エコツアーの方向性を再協議

- ・「エコツーリズムの対象は自然環境と歴史文化」と環境省の資料にも記載がある。そのため**歴史文化も十分対象**となる。⇒むしろ他地域で「歴史」に重きを置いている地域は少なく、他地域との差別化を図ることもできる。
- ・通常的人力車体験に加えて、エコツアーの中では体験した人たちが**思わぬ喜びや出会いを感じてもらえる**ようなものに仕上げていかなければならない。

②実地検証

ぎやらりい宮郷、西の松原、紅葉谷の3つの場所に絞りお客様に伝えるべき感動の種を探す。

■ぎやらりい宮郷



宮郷さんのお話

- ・宮郷さんがお店を始めた経緯、宮島での生活
- ・町屋の特徴的な建築様式
- ・宮島は信仰の島であり、島の人の信仰の心は町家建築にもあらわれている
- ・宮島で「杓子」が作られることになった背景

■西の松原



枕崎台風の痕跡を発見
↓
他にも体験ポイントを探したものの大きな収穫は得られなかった。

■紅葉谷



末原さんのお話

紅葉谷の砂防庭園が安全性が高く、かつ美しい庭園になっている背景について、当時の工事の状況を含め解説いただいた。

③実地検証における収穫

- ・ぎやらりい宮郷の宮郷さんのお話は、宮島の文化や生活を実際に現地に住む人から直接聞ける貴重な体験になる。町屋の造りも実際に目で見ることができ、お客様に納得感を与えられそうであった。
- ⇒「えびす屋さん」のガイドでは、通常、お店に入ることはNGになっているが、エコツアーの特別プランとしてご検討いただくこととした。また、カフェタイムを設けるとさらに良さそうであった。
- ・紅葉谷川庭園砂防施設がどのように整備されて、今の美しい庭園になっているかという背景を知り、知識を深められた。今後のガイドの際に深く説明することが可能となった。

④次回モニターツアーに向けての課題

- ・実地検証で発見したことを整理し、ルートやストーリーの再検討。
- ・ガイドのコンセプトを決め、造成したエコツアーの名称を確定させる。



宮島エコツーリズム推進事業 第1回~第5回報告レポート

第3回 えびす屋エコツアー造成に向けた実地検証

開催日：2024/10/18

①実地検証

人力車に乗車し、宮島島内における「えびす屋」さんの通常のガイドをしていただきながら、どのような要素がエコツアーになり得るか実地検証を行った。



②検証後の意見交換

<参加者から出た意見（抜粋）>

- ・メインとなるクローズアップされたテーマ、例えば、宮島の町並みの歴史的な変化や神社・仏閣などを設定し、その周辺情報（自然要素など）をいくつか用意し、お客さんに合わせて必要な情報を出していくような形が良い。
- ・宮島の生活に注目するのはどうか？ 様々な神社があり、それぞれで祭りがある。そういった祭りの話や、宮島島内の人にとって祭りが身近なものであることを伝えていくのも良いのではないかな。
- ・思いのほか時間がないと感じた。
- ・乗車中に何か食べられると良いかも（テイクアウトはサービスの一環で行っている）。

<今後目指すべきツアーの方向性>

神社・仏閣などの歴史や文化をツアーの「軸」としてプレミアムなツアーを作る。ツアーの中では、地域事業者と連携した「食」の体験や、ぎやらりい宮郷さんにお邪魔して島内の人々の実際の暮らしを体験してもらうなど普段味わうことができない特別なツアーを検討する。



宮島エコツーリズム推進事業 第1回～第5回報告レポート

第1回 総会の振り返りと今年度事業について協議

開催日：2024/7/29

【当日のアジェンダと協議内容】

①上嶋会長ご挨拶

全体構想ができて4年経ち、宮島も自分達自身で取り組みを進めていけるような形を目指していくことが望まれる。

②総会と構成団体へのヒアリング結果報告

活動内容が見えづらいとの声があるが、今年度はHPやパンフレットを作成するので目に見える形としても活動を知っていただきたい。

エコツアーの「質」を高めていくことの重要性を参加されている団体の皆様に伝えていきたい。

③今年度事業について

- えびす屋コンテンツの造成
- エコツアー認定基準の設定
- エコツアーパンフレット、LP作成
- ノベルティーの制作
- 次年度に向けた新規コンテンツの発掘

第2回 宮島現地視察とエコツアーについて協議

開催日：2024/9/20

【当日のアジェンダと協議内容】

①運営部会について

最初は現在の事務局メンバーで部会をスタートするが徐々に事業者や関連団体を含めた会にしていきたい。

②先進地視察について

今年度は日程的に厳しく、かつ来年度事業者に多く参加していただく方が効果的な視察になると考え、来年度の早い段階で実施する。

③宮島現地視察について

10/18の第3回運営部会（宮島現地視察）の当日のスケジュールについて協議を行った。

④エコツアーの認定について

- ・エコツアーの認定は宮島エコツーリズム推進協議会 運営部会が行う。
- ・認定はエコツアー単体に行うのではなく、エコツアー研修を履修した「事業者」に対して認めていく。
- ・認定された事業者のエコツアーは、宮島エコツーリズム推進協議会のHP（ホームページ）にて紹介する。
- ・認定された事業者は、エコツアー以外のコンテンツ（通常商品）を有していても構わない。
- ・今回、「えびす屋」とエコツアーを作る中で認定基準（チェック項目）を作成する。

